

|       |           |         |         |      |     |
|-------|-----------|---------|---------|------|-----|
| 科目名   | 日本人の生活と習慣 | 科目コード   | 1331    | 単位数  | 2   |
| 担当者名  | 加藤 由紀子    | 開講セメスター | 第2セメスター | 開講年次 | 1年次 |
| 授業の方法 | 講義        | 実務経験    | 無       |      |     |

● 授業のねらい

日本人の生活と習慣 に引き続き、日本の生活文化を学習しながら、論文テーマなどを考えるための視点と方法を学びます。参考文献の探し方や、資料収集・分析の方法、発表のしかたなども学習します。

● 到達目標

語学の修得だけでなく、現在の日本の姿や日本人の考え方などを学ぶことを目標とします。ビジネスプレゼンテーションなど、さらなるコミュニケーションスキルを向上させていきます。

● 授業内容

- 1週目 日本人のライフサイクルとライフロールの変化（出生から青年期まで）
  - 2週目 日本人のライフサイクルとライフロールの変化（青年期結婚から壮年期）
  - 3週目 日本人のライフサイクルとライフロールの変化（老年期から終末まで）
  - 4週目 日本人の職業観と就業実態（特に、大学生の就職などを考える）
  - 5週目 日本の産業を概観する（観光）
  - 6週目 日本の産業を概観する（貿易）
  - 7週目 地域交流フィールドワーク（北海道ビジネスエキスポ視察 など）
  - 8週目 日本人の生活観（世論調査からトピックを選択する）
  - 9週目 日本人の生活観（世論調査からトピックを選択する）
  - 10週目 日本人の生活観（世論調査からトピックを選択する）
  - 11週目 日本人の生活観（世論調査からトピックを選択する）
  - 12週目 日本の生活文化：年未年始（日本の年未年始の諸行事の意味）
  - 13週目 地域交流フィールドワーク（防災センター など）
  - 14週目 プレゼンテーション準備
  - 15週目 プレゼンテーション発表会
  - 16週目 プレゼンテーションの自己評価とフィードバック
- フィードバック（テスト返却、講評、等）を実施します。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

この講義では、授業への出席の前に、さまざまなニュースや社会の動きや変化を常に意識して、情報の入手をすることが必要です。翌週の講義の内容について、関連する情報を報道などで、必ず把握してきてください。予習・復習の内容については、講義中に指示します。

また、毎授業後に振り返りシートを2種類配布します。  
 授業当日の振り返りシートは授業終了時に提出してください。  
 翌週、または指定した日に、授業後復習した振り返りシートを必ず提出してください。  
 プレゼンテーションについては、必ず各授業の前に、決められた制作を完了させてきてください。

● 成績評価の方法・基準

授業の振り返りシート（40％）各種課題（30％）プレゼンテーション（30％）で評価します。

● 履修上の留意点

成績の評価は、全16週のうち、10週以上授業に参加した学生を対象とします。  
 セメスター中に、フィールドワークを実施することがあります。フィールドワークは、相手先の都合により土日を含む授業以外の時間に設定される可能性もあること、交通費など個人負担があることを了承して履修してください。フィールドワークは全員参加です。

● 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題については、コメントをつけてメールなどでフィードバックします。

● テキスト

特になし

● 参考書

必要に応じて、授業中にレベルに対応するものを紹介します。

● 更新日付

2020/02/04 02:31